

別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：竹内孝美

職業：大学客員講師

所属：広島大学

専門分野：TESOL 異文化コミュニケーション

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

大学院留学という形でアメリカミシガン州に2年間滞在しました。充実したアメリカの大学院での教育を経験し、さまざまな国の友人達との交流を通じて異文化の理解を深めたと思っています。また中学生、高校生たちのホームステイを計画し、アメリカ、カナダで異文化はもちろん、多様な文化が融合した都市の雰囲気を楽しんできました。アメリカ以外にもメキシコ、エクアドル、ドミニカ共和国など、異なる文化や環境に触れ、自己成長の貴重な機会となりました。

広島の子供・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

異文化に触れる機会をたくさん持って、異文化との出会いを楽しんでほしいと思います。グローバルな世界の中で異なる文化や価値観を持つ人たちと相互理解を深め、信頼関係を築き、コミュニケーションのスキルを磨くことによって視野を広げていけると 생각합니다。たとえ文化や習慣が違っていてもお互いに尊重しあい、多様性を理解しながら平和な世界の礎を築いてほしいと願っています。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

長年にわたり、自分の塾で小学生から高校生、そして大人まで幅広い年齢層に対して英語を教えてきました。その間にホームステイの計画をたて、帯同し、生徒の異文化体験をより深く充実させる役割を果たしてきました。アメリカで修士号を取得し、日本に帰国してからは様々な大学で講師として経験を積んできました。アメリカでは最新の英語教育理論や教授法に触れただけでなく、国際的な視野を持ち、さまざまな国の人たちと協力して働く能力を身につけました。教育の世界での経験を活かし、生徒たちが国際的な視野を広げていける機会を提供出来たらと考えています